

令和7年度 ～とちぎの未来を考える～ 栃木県議会 県政ミーティング
開催結果報告書

令和8年2月10日

池田忠、琴寄昌男
山田みやこ、横松盛人、塩田ひとし、
平池紘士、加藤雄次、岡部光子 湯澤英之
岩崎信、山形修治、野澤和一、石坂太、
大木英憲

1 開催の目的

とちぎの未来を担う子どもたちに議会に対する関心を高め、理解を深めてもらうための主権者教育の一環となるよう実施するものである。

2 開催内容

(1) 第1回

ア 日時 令和7年7月14日（月曜日）10時50分から11時40分まで

イ 場所 県立鹿沼東高等学校 大会議室

ウ 出席者 県立鹿沼東高等学校：生徒 3年生約70名

県議会：池田忠議長、琴寄昌男副議長、山田みやこ議員、横松盛人議員、
塩田ひとし議員、平池紘士議員、加藤雄次議員、岡部光子議員、
湯澤英之議員

エ 内容

(7) 開会

(イ) プログラム

① 正副議長、出席議員自己紹介

正副議長はじめ出席議員が自己紹介を行った。

② 県議会の役割・取組の紹介

琴寄副議長から、県議会の役割や取組についての紹介を行った。

③ 意見交換

テーマ「私たちが拓く栃木県の未来」について、生徒（計8名）が意見を発表した後、議員がコメントを述べた。その後、質疑応答を行った。

－発言概要－

発表１ 「人口減少対策について」

（生徒）

移住都道府県ランキングで上位に位置しながら、人口減少に歯止めがかからず、消滅可能性都市に指定されている市町があります。人口減少の原因は、都市への転出により、地元へ帰ってこないことだと私は思います。ついては、転出者が栃木県に戻ってくれるための政策はありますか。

（琴寄副議長）

転出超過は、多少の改善傾向にあります。結婚支援の充実、子育て環境の整備、移住体験ツアー等の施策の効果ではないかと思います。一方で、特に女性の東京圏への転出が顕著であることは課題です。引き続き、改善に向け尽力していきますので、魅力ある栃木県づくりのために、皆さんの若い視点を県政に届けてほしいと思います。

発表２ 「商業施設の誘致と若者の増加で賑わいを創出」

（生徒）

商業施設の誘致により、県内に訪れる若者の数が増えて、県の活性化につながると思うので、積極的な誘致をお願いしたいです。また、併せて地元の食材を使用してもらうことで、地産地消や農業の拡大につながると思います。

（平池議員）

話題性があるものが本県にあるのかがポイントです。地産地消に関連して、例えば長野県小布施町では地域の方々が協力し合って、６次産業に取り組んでいます。地元で獲れたもので、地元の人たちが作って、地元の人たちが販売するという取組が地方で展開されてきており、代表的なものが道の駅や直売所です。しかし、話題になるものとして、上手くリンクしているかということ、そうでないのが現状です。そこで、今後様々な情報を得ながら、行政でできるものを皆さんと考えていければと思います。

発表３ 「自然と共生した栃木県づくりを」

（生徒）

自然を活かした施設はありますか。また、新たに建設予定はありますか。

（塩田ひとし議員）

県内には、日光自然博物館等があります。現時点では、新規施設の具体的な建設予定はありませんが、今回質問いただいたことで、栃木の自然や動物の保護・活用の重要性を私も改めて認識しました。

どのような施設が必要なのか皆さんからの意見も踏まえ、今後勉強していき、必要に応じて県議会で提案していきたいと思います。

発表４ 「若者が住みやすい栃木県に」

（生徒）

子ども医療費無償化の拡大、子どもがいる家庭への支援の充実、進学や就職への支援

の強化をしてほしいです。

(岡部光子議員)

各市町で制度に差があり、支援が十分に行き届いていない方もいると思います。県では、令和5年度から少子化対策緊急プロジェクトを実施するなど、少子化トレンドの反転に努めています。進学支援については、高等学校等就学支援金や県育英会の奨学金があります。就職支援については、県内での就職に限りますが、地方就職学生支援資金があります。しかし、十分ではないかもしれませんので、皆さんのアイディアをぜひ県議会に寄せてほしいと思います。

発表5 「観光客のリピーター増加に向けて」

(生徒)

観光PRは、特定の市町のみに限らず、県全体として強化してほしいです。また、鹿沼市や宇都宮市で有名なものは、ありますか。

(横松盛人議員)

日光や那須だけでなく、県全体を盛り上げたいという想いは、県も議員も同じです。県では、新とちぎ観光立県戦略という計画を作り、県内の市町、観光事業者、マスコミなどと連携し、オール栃木で観光振興に取り組んでいます。鹿沼市や宇都宮市には、木材や大谷石など有名なものが沢山あります。まだ気付いていない魅力や観光資源が県内には豊富にありますので、ぜひ皆さんも探してみてください。共に盛り上げていきましょう。

発表6 「観光立県を目指して」

(生徒)

観光資源の地域間格差が課題と考えますが、県ではどのように取り組んでいますか。

(加藤雄次議員)

県内には、各地域に優れた資源がたくさんあることから、磨き上げを行い、情報発信することで、観光資源の地域間格差の解消に向け取り組んでいます。また、県内観光地に来た方が県内の他市町にも周遊してもらうよう、テーマ性やストーリー性を十分に加味した周遊ルートを企画しており、引き続き利用促進に向け取り組んでいきます。私もこれからも更に勉強して、県議会で提案していきたいと思います。

発表7 「人とのつながりを深く強く」

(生徒)

地域住民同士の交流が減ってしまったと感じます。地域とのつながりが強くなれば、安心できる栃木県になり、若者や高齢者、さらには県外から来た方がより過ごしやすい場所になると考えます。人との交流を深く強くするために何か取り組んでいますか。

(山田みやこ議員)

人との交流は、とても重要です。デジタル化で便利になった一方、対面での会話や相手の反応を感じ取る感性が薄れていると感じます。失敗や評価を恐れず、世代を超えて会話をし、互いに地域の魅力を語るなど、直接のコミュニケーションを大切にすることが

必要だと思います。経験から得る感情や安心できる環境は、自己肯定感を高め、充実感につながります。良いことも悪いことも経験しながら、積極的な交流を通じて感性を磨いていくことが答えではないかと思います。

発表8 「空き家・空き店舗対策について」

(生徒)

街中の空き店舗を見た友人が「不気味で怖い」等の発言をするのを耳にして、せっかく観光やお祭りのために本県に来て、マイナスなイメージだとよくないと思います。空き家や空き店舗を活用するための施策をお聞きしたいです。

(湯澤英之議員)

県では、平成20年から「栃木県商工業者等の地域貢献活動によるまちづくりの推進に関する条例」を制定し、取り組んでいます。例えば、鹿沼市でも「空き店舗等活用新規出店支援事業補助金」により、空き店舗等の活用に対する支援を行っています。しかし、現行の取組では十分ではないかもしれませんので、私も問題意識を持って、引き続き、空き家・空き店舗問題に取り組んでいきます。

【質疑応答】

意見交換の後、質疑応答が行われ、通学に際しての公共交通機関の運賃補助や増便に関する質問について平池議員が、学生が遊べる場所づくりに関する質問について湯澤議員が回答した。

④ 議長から生徒へのエール

池田議長から生徒に対してエールを贈った。

－発言概要－

生徒の皆さんが、栃木県のこと、住む街のこと、学校のことを真剣に考えて、その想いを表現してくれたことに感謝します。

今県政が直面している課題に対する皆さんの想いを聞くことができましたので、参考にさせていただきます。

人のために役立ちたく、また、郷土の想いを実現したく、日々取り組んでいる議員ばかりです。何か意見等があれば、ぜひ議員に想いを伝えていただきたいと思います。

(㊦) 生徒感想発表

代表生徒が県政ミーティングについての感想を発表した。

－発言概要－

参議院議員選挙が迫る中、選挙権を持っている年齢なので、大変有意義でした。議員と意見交換ができて大変嬉しく思います。自分たちの考えを議員に伝えることができたので、今後に生かしていただけるとありがたいです。

(I) 閉会



(2) 第2回

ア 日 時 令和7年10月29日（水曜日）11時から11時50分まで

イ 場 所 県立真岡工業高等学校 体育館

ウ 出席者 県立真岡工業高等学校：生徒 2年生約150名

県議会：池田忠議長、琴寄昌男副議長、岩崎信議員、山形修治議員、
野澤和一議員、石坂太議員、大木英憲議員

エ 内 容

(7) 開会

(イ) プログラム

① 正副議長、出席議員自己紹介

正副議長はじめ出席議員が自己紹介を行った。

② 県議会の役割・取組の紹介

琴寄副議長から、県議会の役割や取組についての紹介を行った。

③ 意見交換

テーマ「私たちが拓く栃木県の未来」について、生徒（計6名）が意見を発表した後、議員がコメントを述べた。その後、質疑応答を行った。

－発言概要－

発表1 「少子化対策について」

（生徒）

栃木県に限らず今の日本では、少子化が進んでいます。お金がないなどの金銭的な理由から、子どもを産めないと言っている人が多くいると思います。

どんな少子化対策をするのが一番効果的と考えていますか。また、栃木県では、実際に

どんな少子化対策をしていますか。

（琴寄昌男副議長）

少子化は、日本全体の深刻な課題であり、出生数の減少や合計特殊出生率の低下が続いています。背景には晩婚化や非婚化、経済的不安があり、育児と仕事との両立や費用面が子どもを持つ障壁となっています。

対策としては、児童手当の拡充などの経済支援や育児環境の整備が重要です。

県では、結婚支援センターの運営や企業との連携による経済的負担の軽減、男性の育児参加促進などを進めており、若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる社会の実現を目指しています。

発表２ 「栃木県の人口減少について」

（生徒）

栃木県の人口は、一番多い時で200万人を超えていたのに、現在では190万人を切っていると聞きました。栃木県には若者が楽しめる施設が少ないような気がします。栃木県の人口減少の理由をどう考えていますか。

また、若者が地元に残りたいと思うような街をつくるため、県議会からの働きかけによって始まった県の取組があれば教えてください。

（岩崎信議員）

栃木県では、人口減少が最大の課題で、若い女性の東京圏への流出も深刻です。議会では予算審議だけでなく、提言も行っています。例えば、知事に人口減少対策を問いかけ、今年４月に人口未来会議が設置され、産官学連携で「とちぎ人口減少克服宣言」を行いました。また、若者の声を大事にし、その声を反映するとちぎ若者会議も開催しています。

次期プランにおいても、人口減少問題を重視し、若者が地元に残り、最終的に栃木県に戻ってきてもらえるような環境づくりを目指していきます。

発表３ 「空き家問題について」

（生徒）

最近、ニュースで空き家の問題が起きていることを聞きます。

なぜ空き家が増えているのか、栃木県では空き家の問題にどのように取り組んでいるのか、空き家を今後どうしようと思っているのか、教えてください。

（山形修治議員）

栃木県では、空き家の増加が深刻な社会問題となっており、人口減少や高齢化、若者の都市部への移住が主な要因です。

県や市町では、空き家バンクの活用や補助制度を通じて対策を進めています。例えば、宇都宮市では改修費の最大300万円の補助や、佐野市では観光や農産物販売場所に活用しているなどの事例があります。

空き家は、負の遺産ではなく、地域の貴重な資源として重要です。空き家を地域資源として利活用し、移住促進や地域活性化につなげる取組を強化していきます。

発表4「高校内のエアコン設置について」

(生徒)

宇都宮市内などの小中学校では体育館のエアコンの設置が進んでいると聞いています。まだ私たちの学校を含め、高校の体育館にはエアコンがありません。

熱中症対策としてエアコンの設置を進めていただけませんか。ここ数年気温の上昇が続いており、今のままでは夏場に運動ができる学校とできない学校で差が出てしまうと感じています。

(野澤和一議員)

県議会では、どの地域でも平等に学べる環境を目指し、体育館へのエアコン設置を推進したいと考え、様々な取組を行っています。

しかし、優先順位の都合上、県立学校においては、特別支援学校から整備を進めています。普通教室では、既に100%設置済みですが、特別教室や体育館への設置促進に向けて、国にも予算要望を行っています。一日でも早い実現を目指し、若者の声を県政に届けるため、県議会でも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

発表5「自転車走りやすい道路について」

(生徒)

自転車が走りやすい道路になっていません。自転車の専用レーンを作っていただけませんか。また、音が出る信号など、交通のバリアフリー化が進んでいない気がします。

このように道路についての課題が沢山あると感じています。これらの課題についてどれぐらい予算を使っているのですか。また、それは十分に足りていると思いますか。

(石坂太議員)

県では、自転車利用の促進と事故防止の両面から取組を進めています。

具体的には、自転車条例を制定し、ヘルメット着用や保険加入を推奨しています。

また、安全な道路環境整備も県の責務であり、令和2年度から令和7年度までで自転車専用道路の74kmの整備を目標とし、昨年までに72kmを達成しております。今後は、新たな計画を策定予定です。自転車専用の予算による整備ではなく、道路拡幅工事に合わせて自転車道を整備することが中心となっており、年間約220億円を投じています。

県民の皆さんの懸念も踏まえ、安全な自転車環境づくりを進めていきますので、期待してお待ちいただければと思います。

発表6「県民割引について」

(生徒)

県民割や市民割がある公共施設をもっと増やしてほしいと思っています。

(大木英憲議員)

地域の活性化や公共施設の利用促進を図るためには、学生割引や県民の日の割引など柔軟な料金設定も重要だと思います。

一部施設では、県民が県外の方より安く利用できる場合もあります。様々な割引方法が考えられ、県内外から多くの方に利用していただくことも大切です。

県の施設の収支や採算性、効果を踏まえた料金設定については、県議会で議論されます。
また、市の施設については、市議会で検討されます。
いただいた御提案を参考にし、県議会での提案につなげていきたいと考えています。

【質疑応答】

意見交換の後、質疑応答が行われ、スケートパークの建設の質問について石坂議員が、
空港の建設の質問について琴寄副議長及び大木議員が回答した。

④ 議長から生徒へのエール

池田議長から生徒に対してエールを贈った。

－発言概要－

皆さん一人ひとりが、栃木県のこと、喫緊の課題である少子高齢化のことなどについて、
真剣に考えて発言していただいたことに感謝します。さらに、解決の糸口まで考えていた
だいたことには、大変感激しました。

若者らしい質問や壮大な質問をいただきました。ぜひ、これからも政治、そして県政に
興味を持っていただきたいと思います。また、県議会は、テレビやインターネットで配信
されていますので、御覧いただければと思います。

(ウ) 生徒感想発表

代表生徒から出席議員に対して感想を発表した。

－発言概要－

普段聞けない話を聞くことができ、大変貴重な時間になりました。

これからも、栃木県に住む人のために、全力で政策活動を頑張ってくださいと思います。
私たちも、地元栃木県や国の様々な課題に注目し、選挙権を持つようになったら、必ず
選挙に行こうと思います。本日は、ありがとうございました。

(イ) 閉会



3 県民への情報発信等

(1) 県議会広報

- ア 県議会公式Xでの情報発信（計9回）
- イ 県議会広報番組「県議会ハイライト」での放送 8月3日17:30～18:00（一部）
12月7日17:30～18:00（一部）
- ウ 県議会広報紙「県議会とちぎ」への掲載 NO.159号（8月3日発行）
NO.160号（12月7日発行）
- エ 本館15階企画展示ロビーでの議会広報展示 9月18日～同月26日
- オ 県立図書館展示スペースでの県議会連携展示 11月27日～12月25日

(2) メディア

- ア 下野新聞 7月15日朝刊、10月30日朝刊
- イ とちぎテレビ とちテレNEWS 9
- ウ RADIO BERRY Flying Friday

(3) その他

- ア 総務省「主権者教育だより」への掲載 9月号

4 アンケート結果（回答 鹿沼東高等学校59 真岡工業高等学校115）

問1 議会の取組の説明について

説明は分かりやすかったですか。

回答項目	鹿沼東高校	真岡工業高校
分かりやすかった	50.85%	41.74%
やや分かりやすかった	35.59%	28.69%
普通	11.86%	26.96%
やや分かりにくかった	1.70%	0%
分かりにくかった	0%	2.61%

問2 意見交換について

栃木県の将来や政治への参加について、興味・関心は高まりましたか。

回答項目	鹿沼東高校	真岡工業高校
高まった	59.32%	36.52%
やや高まった	35.60%	43.48%
変わらない	5.08%	20.00%

問3 県議会及び県議会議員について

県議会及び県議会議員について、身近に感じることができるようになりましたか。

回答項目	鹿沼東高校	真岡工業高校
感じられるようになった	55.93%	33.91%
やや感じられるようになった	37.29%	43.48%
変わらない	5.08%	16.52%
あまり感じられなかった	1.70%	3.48%
感じられなかった	0%	2.61%

問4 県議会議員を身近に感じられるための情報について

県議会議員について、このような情報を知れば、より身近に感じられるという情報を教えてください。

回答項目	鹿沼東高校	真岡工業高校
趣味	49.16%	66.96%
得意なスポーツ	6.78%	11.30%
好きな食べ物	6.78%	6.09%
好きな芸能人	15.25%	4.35%
好きな漫画	15.25%	7.82%
その他	3.39%	1.74%
無回答	3.39%	1.74%

自由意見（抜粋）

鹿沼東高等学校

- 直接、議員に質問し回答を聞くことができ、とても栃木の課題を身近に感じることができました。また、議員たちが抱えている思いが私たちと一致していたので、栃木の未来をより一層期待したいなと思いました。
- 貴重な経験ができて良かったです。議員との交流を通して、議会は堅いイメージがありましたが、皆さん明るく優しく話をしてくださったおかげで、議会のイメージがより身近に感じられるようになりました。
- 聞いてて理解力が深まったし、政治とか選挙に興味が湧きました。
- 生徒の質問に対して、真摯に答えようとしてくれる姿勢が好印象でした。良い経験になったと思います。
- 政治に対して今までは良いイメージが無かったのですが、今回の県政ミーティングの様子を見たり聞いたりして、栃木県についてしっかり考えてくれていることがよく分かったので良いイメージを持てました。
- 政治について考えることで、今まで気付かなかった栃木の魅力をいくつか知ることができました。
- 私は、栃木県が大好きで栃木県に一生住みたいなと思っているので、議員になる勇氣は無く

ても、県議会に意見を届けてみるなど、自分にできることをしていきたいと思いました。

真岡工業高等学校

- 今回のミーティングを通して、改めて栃木県の問題などを再確認することができました。普段では聞けないような話なども聞いたのでとても良かったです。
- 栃木県について、よく考えるようになりました。とても盛り上がりながらの議論だったので、楽しかったです。
- とても貴重な時間であり、質問に対しての返答も分かりやすく、良い経験ができたと思いました。
- 今まで県議会について関心がなかったが、県政ミーティングによって県議会や政策について調べてみようという動機になりました。
- 栃木県が抱えている問題やその問題に対してどのような対策をされているのかをより詳しく知ることができました。
- 栃木県のことについて色々議論があった中で、自分の意見も思いつつ真剣に今回のミーティングを最後までしっかり聞いたので、とても自分の身になりました。これからもより良い栃木県であるように日頃から心掛けたいと思います。
- 自分の意見を県議会の人に伝えて答えをもらえることは、なかなかない経験なので、できてよかったです。

5 参加議員の感想

(1) 鹿沼東高等学校

- | | |
|------|---|
| 山田議員 | 人口減少問題、住みやすい環境づくり、観光資源の地域格差など、将来の栃木を何とかしたいという思いが見えました。さらに、人とのコミュニケーションが希薄になっていることへの危機感を持ち、人との交流を深くしてつながり安心をつくる必要があると期待できる若者像を感じました。 |
| 横松議員 | 若い高校生との意見交換は、大変有意義でした。できることならば、もっと時間がほしかったです。 |
| 塩田議員 | 若い人たちに自分の住んでいる町の行政がどのように運営されているのか知ってもらうことは、とても意義があることだと考えます。実際に会って言葉を交わし、意見を交換することは、同じことをスマホで検索したのでは得られない気づきが双方にあると感じました。 |
| 平池議員 | 高校生世代の流行を知ることができました。また、このミーティングをひとつの機会として県内の社会的課題などについて、それぞれが具体的に勉強していることもしっかり伝わってきました。大変実りある取組だと認識します。 |
| 加藤議員 | 高校生にとって、県政や県議会に対する関心を高める良い機会であると思います。また、若い世代の柔軟な発想に基づく県施策に対する提案があり、議員自身も新たな気づきを得ることができたため、意義のある取組だと思います。 |
| 岡部議員 | 今回は鹿沼東高校を訪ね、「私たちが拓く栃木の未来」をテーマに、生徒さん |

らから質問を頂き、意見交換をしました。「栃木県が好きです」「沢山の観光客に来県してほしい」「スイーツパラダイスを作してほしい」「進学就職支援をもっと手厚く」など、和やかな雰囲気の中にも真剣に未来を見つめる高校生ならではの視点を肌で感じ、貴重な経験をしました。この機会に更に県政に興味を持って頂き、私たち議員も若い世代と共に知恵を出し合い、より良い栃木県を築いていきたいと思います。

湯澤議員 生徒さんと意見交換ができてとても嬉しかったし、高校生との会話の中で、新たな視点を持つことができて、有意義な時間でした。今回をきっかけに、高校生の意見を大事にした活動を取り入れていきたいと思います。

(2) 真岡工業高等学校

岩崎議員 県議会県政ミーティングを真岡工業高校で開催でき、多くの生徒の皆さんと率直な意見を交わせたことは、大変意義深い時間となりました。

学校の設備や地域の課題、人口減少など現場でしか聞けない生徒さんの生の声を伺うことができ、今後の政策の改善にしっかり生かしていきたいと感じました。若い世代が自分の未来だけでなく、地域の未来について真剣に語る姿に栃木県の将来への大きな希望を感じました。

山形議員 あまりかしこまらずにできる演出は、良かったと思います。身近に感じていただけたのでは無いでしょうか。これをきっかけとして、地域の課題を学び自分ごととして捉え、たくましく生き抜く力を身につけてほしいと感じました。

野澤議員 参加された生徒の皆さん、最後まで県政ミーティングに集中していた姿に感動しました。若い人たちから頼られる県議会にしたいと決意を新たにしました。ありがとうございました。

石坂議員 県議会ナビゲーターの永井さんの司会のもと、あまり肩肘を張らない雰囲気づくりを進めて頂き、高校生も私たちもあまり構えることなく、素晴らしい機会であったと感じます。

大木議員 この度は、高校生と一緒にとちぎの未来を考える貴重なミーティングに参加することができました。高校生からは、率直な意見から夢のある政策まで貴重な意見を伺うことができました。若い人たちにも政治や議会を少しでも身近に感じて頂けたら嬉しいです。

6 まとめ

本年度の県政ミーティングは、県立鹿沼東高等学校と県立真岡工業高等学校で開催し、生徒と議員が直接意見を交わす場となった。人口減少や少子化、観光振興、空き家対策、交通環境整備など幅広い課題が取り上げられ、議員は現状や施策を説明するとともに、若者の率直な視点を歓迎した。生徒からは、「政治を身近に感じた」「意見を伝えられて良かった」などの声が寄せられ、議員にとっても新たな気付きを得る機会となった。

こうした交流は、若者が主権者としての意識を育み、議会が県民の皆さんに開かれた存在であ

ることを示す重要な取組である。

今後も、学校や生徒の声を踏まえながら内容を工夫し、より効果的で実感を伴う学びの場へと発展させていくことが期待される。

(参考) 実施経過

令和7年

- 4月 上都賀地域、芳賀地域の高校に開催意向の照会、開催校2校を選定
- 5月 出席議員照会、決定
- 6月16日 本会議に県立鹿沼東高等学校への議員派遣の議案上程（議決）
- 7月14日 県立鹿沼東高等学校において開催
- 9月30日 総務省「主権者教育だより」への掲載
- 10月9日 本会議に県立真岡工業高等学校への議員派遣の議案上程（議決）
- 10月29日 県立真岡工業高等学校において開催

令和8年

- 2月10日 議会運営委員会において開催結果報告